

平成29年度 新製品・新技術開発助成事業

申請ガイド

(公財)東京都中小企業振興公社

助成課

目次

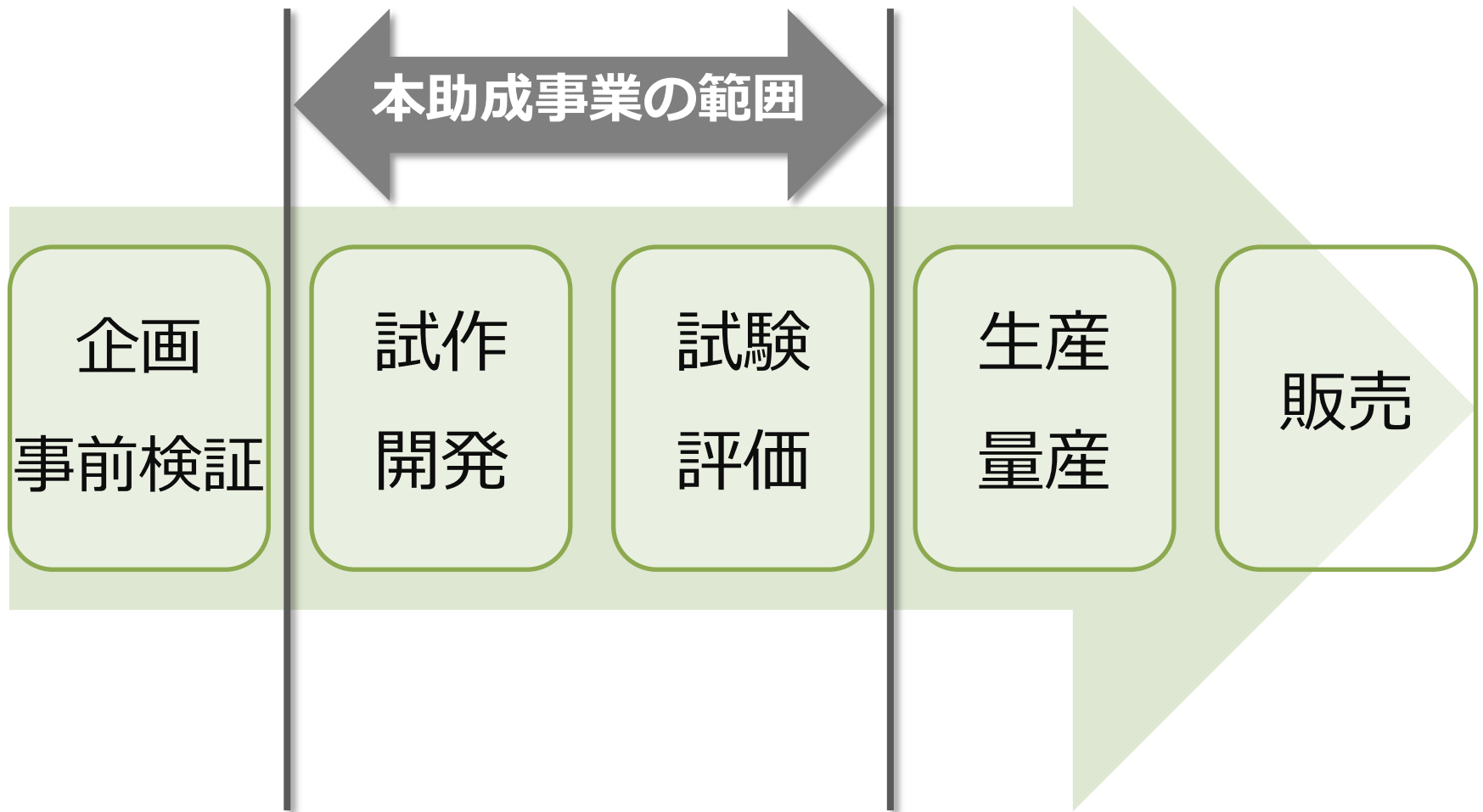
1. 本助成事業の概要
2. 申請手順
3. 申請書作成のポイント
4. その他の注意事項

1. 本助成事業の概要

新製品・新技術開発助成事業とは

- **技術開発要素のある**新製品・新技術の研究開発にかかる経費の一部を助成
- 設備導入や技術開発要素のない改良は、助成の対象外となる可能性あり

事業の対象範囲



本助成事業の概要①

項目	内容
助成限度額	1,500万円
助成率	1／2 以内
助成対象期間	平成29年4月1日～ 最長平成30年12月31日

本助成事業の概要②

項目

内容

助成対象経費

原材料・副資材費
機械装置・工具器具費
委託・外注費
産業財産権の出願・導入費
専門家指導費
直接人件費（ソフト開発のみ）

対象となる事業分野

- **新製品・新技術の研究開発**

新しい機能を付加した製品や新しい製造技術に関する
ハード面の研究開発で、試作品の設計、製作、試験評価
及び改良など

- **新たなソフトウェアの研究開発**

システム設計等**ソフト面の新たな研究開発**で、
データ処理装置・情報処理プログラム開発及び改良など

- **新たなサービス創出のための研究開発**

新たなサービスの提供による生産性の向上、高付加価値
化を目的として、サービス関連業等が外部の技術を活用
して行う研究開発など

申請要件

- **住所等の要件**

- 東京都内に主たる事業所を有し引き続き 1 年以上事業を営んでいる中小企業者等
- 東京都内で創業し引き続く事業期間が 1 年に満たない中小企業者等
- 東京都内での創業予定者

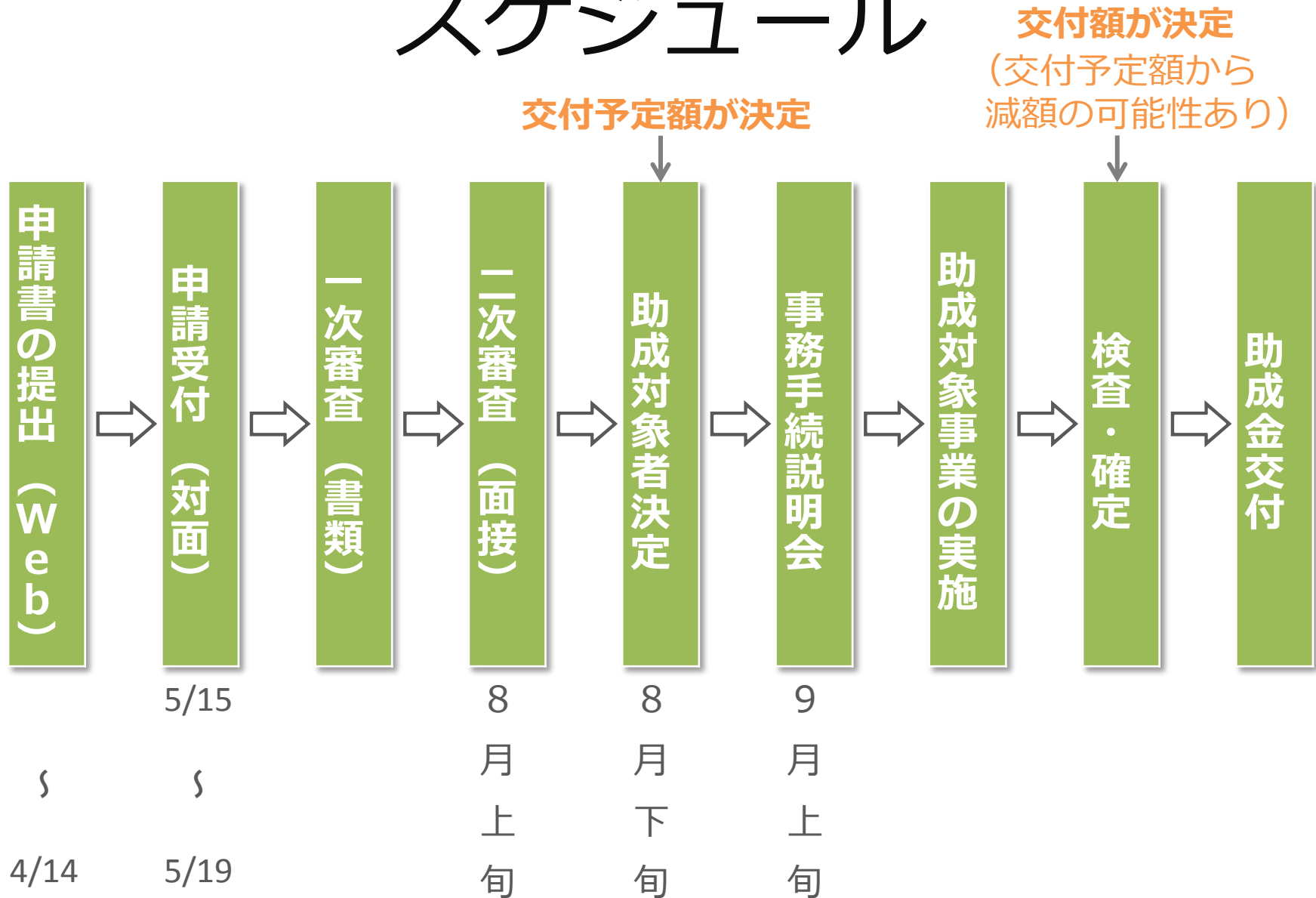
- **業種等の要件はなし**

- 製造設備を持たない企業も申請可能
 - ※仕様策定やテスト等の**開発の主要な部分は自社で行う**こと

助成対象経費

- 事業実施のために**必要となる最小限の経費**のみ
- 助成対象期間内に契約、取得、支払いが完了するもの
- 助成対象の確認が可能で、本助成事業の係るものとして明確に区分できるもの

スケジュール



研究開発物

- 助成対象となっている研究開発物は、**助成期間中に販売できません。**
- 本助成事業で取得等を行った財産（研究開発物など）は、5年間の保存義務あり。

2. 申請手順

申請フロー

ID登録

- 担当者情報の登録

申請書提出

- 企業情報の直接入力
- 申請書
- 補足説明資料

日時予約

- 申請受付の日時予約

※予約枠は十分にございます

申請受付

- その他の必要書類持参

Web（申請Webページ）

対面

主な提出物①

- **Webで提出するもの（4月14日まで）**
 - 開発計画、資金計画、役員株主名簿、
特許公報類（任意）、補足説明資料（任意）
 - ※個人事業主は、申請者の氏名のみを記入した
役員株主名簿を提出
 - ※申請する**研究開発に必要な産業財産権を出願又は
保有している**場合は、特許公報類を必ず提出

主な提出物②

- **お持ち頂くもの（5月の申請受付時）**
 - 申請前確認書、確定申告書（2期分）、
登記簿謄本、社歴書、納税証明書、
見積書の写し（100万円以上の機械装置費のみ）、
返信用封筒（2通）
 - ※申請前確認書は、申請Webページからダウンロード
して必要事項を記入し、**会社実印を押印して提出**
 - ※確定申告を電子申告している場合は、受信通知である
「**メール詳細を印刷した書類**」も提出

本助成事業のWebページ

支援します！公社は企業のパートナー
公益財団法人 東京都中小企業振興公社
Tokyo Metropolitan Small and Medium Enterprise Support Center

サイトマップ サイト内検索 Google カスタム検索 検索 文字サイズ 小 標準 大

公社事業案内 公社概要 事務所一覧 ENGLISH ネットクラブ会員になりませんか →

クイック検索 企業情報 専門家情報 東京デザイナー情報 企業商品情報 受発注情報 インキュベーションオフィス情報

新製品・新技術開発助成事業

新製品の事業ページ

新製品・新技術開発助成事業

本事業では、実用化の見込みのある新製品・新技術の自社開発を行う都内中小企業者等に対し、試作開発における原材料費や委託・外注費、ソフトウェア開発の人件費など、開発経費の一部を助成します。

※「設備導入を主目的とした申請」や「技術開発要素の無い既存製品の改良を主目的とした申請」は、助成対象外ですのでご注意ください。

対象となる事業分野

1 新製品・新技術の研究開発

新しい機能を付加した製品や新しい製造技術に関するハード面の研究開発で、試作品の設計、製作、試験評価及び改良など

申請書

- [申請前確認書](#) [Word: 21KB]
- [申請書\(役員株主\)](#) [Excel: 16KB]
- [申請書\(開発内容\)](#) [Word: 54KB]
- [申請書\(資金計画\)](#) [Excel: 77KB]

申請書様式をダウンロード

申請方法

下記のリンク先の申請Webページにて申請を受け付けて必要項目を入力し、送信してください。

申請Webページへのリンク

→ [申請はこちらから](#)

申請Webページ

 公益財団法人 東京都中小企業振興公社

[ログイン](#)

[ログインできない? ▼](#)



新製品・新技術開発助成事業 申請Webページ

新製品・新技術開発助成事業では、研究開発経費の一部が助成されます。
技術開発要素のある研究開発を行う予定の方は、是非ご利用ください！！

インフォメーション

2017.02.03 申請受付期限は4月14日（金）です。

2017.02.03 本助成金への申請を希望される方は、右下の「申込」をクリックしてください。

平成29年度 新製品・新技術開発助成事業

ここをクリックして
ID登録開始！

申込

マイページ（ログイン後）

企業情報を
フォームに入力

平成29年度
助成事業

企業情報・開発内容等

企業情報の入力

開発内容等の書類の提出

記入済みの
申請書ファイルを
アップロード

インフォメーション

2017.02.03 [申請書作成のポイントはこちら。](#)
2017.02.03 申請書様式のダウンロードは右下の「リンク」から。
2017.02.03 申請書の提出期限は、平成29年4月14日（金）です。

メッセージ

全てを見る

既読:1件 未読:2件 添付ファイル:0件 お気に入り:0件

2017年01月23日 18:48:52
[申請書提出のお願い](#)
様本システムからご
ります。（1）企業情報（2）

2017年01月23日 18:38:51
[企業情報の入力における一時保存について](#)
様企業情報入力時の一時保存のやり方についてご紹介しま
す。次の2ステップで入力項目を途中保...

2016年12月13日 13:10:04
[マイページへようこそ](#)
様お世話になっております。新製品・新技術開発助成事業
事務局でございます。本助成金の申請に...

こちらからも
申請書様式を
ダウンロード可

コンテンツ

ステップ

- ① 企業情報の入力
- ↓
- ② 申請書類の提出
- ↓
- ③ 申請受付の日時予約

リンク

募集要項

- [\[様式\] 書類① 役員株主.xlsx](#)
- [\[様式\] 書類② 開発内容.docx](#)
- [\[様式\] 書類③ 資金計画.xlsx](#)
- [申請前確認書.xlsx](#)
- [助成金の概要説明（動画）](#)

3. 申請書作成のポイント

研究開発の達成目標

- 達成目標を全て達成することが
助成金交付の要件
 - 採択後の変更は不可

技術開発要素の新規性又は優秀性を抽出

※どちらか又は両方

※各項目最大3点

各要素について機能目標か性能目標を記入

※どちらか又は両方

研究開発の達成目標

申請テーマ (表紙と同じ)				の 開発
(1) 研究開発の概要を400字以内で簡潔に記載してください。				
①				
(2) (1)の研究開発における技術開発要素の特長を「新規性」・「優秀性」の観点から抽出し、箇条書きしてください。なお、記載事項は「研究開発の詳細」の新規性・優秀性に対応させてください。				
番号	新規性	番号	優秀性	
新-1		優-1		
新-2		優-2		
新-3		優-3		
(3) (2)の新規性・優秀性の技術開発要素について、それぞれ機能目標か性能目標を記入してください。なお、番号は「研究開発の詳細」の新規性・優秀性の番号に対応させてください。				
番号	技術開発要素	機能目標	性能目標	達成を証明するもの
				☐ 仕様書 ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他()
				☐ 仕様書 ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他()
				☐ 仕様書 ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他()
				☐ 仕様書 ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他()
				☐ 仕様書 ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他()
				☐ 仕様書 ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他()
				☐ 仕様書 ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 試験報告書 ☐ 写真 ☐ その他()
(4) (1)の研究開発全体の完了を証明するものを記載してください。				
仕様書(必須) 評価報告書(必須) ☐ 図面 ☐ 設計書 ☐ 写真 ☐ その他()				

[illegible]

(1) 新規性（本研究開発と自社内の既存事業との関連性、技術開発要素の独自性等）

番号	内容
新-1	②
新-2	
新-3	

(2) 優越性（技術開発要素の既存物に対する優位性、技術的な波及効果、社会的な貢献度等）

番号	内容
優-1	②
優-2	
優-3	

(3) 市場性（狙いとする市場や対象顧客、市場投入時期、販路開拓の手法、価格競争力、売上見込等）

--

H29年度 新製品・新技術開発助成事業

スケジュールと資金計画

助成事業のフロー・スケジュール

作業項目、具体的作業内容、資金支出明細の番号を入力してください。なお、人件費は記入不要です。

No.	作業項目	具体的作業内容	資金支出明細の番号	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
(1)												
(2)												
(3)												
(4)												
(5)												
(6)												
(7)												
(8)												
(9)												
(10)												

各工程において発生する
人件費以外の費用番号を全て記入

(1) 原材料・副資材費

(単位：円)

番号	品名	仕様	用途	数量(A)	単価(B) (税抜)	助成事業に 要する経費 (税込)	助成対象経費 (A) × (B)	購入企業名
系-1								
系-2								
系-3								
系-4								
計								

(2) 機械装置・工具器具費

リース・レンタルの場合は、助成実施期間内に機械装置・工具器具を使用した月数×月額リース料・レンタル料が計上できます。

(単位：円)

番号	品名	規格(メーカー、型番等)	用途	調達方法	設置期間	数量(A)	購入単価 又は リース料等の 合計(税抜) (B)	助成事業に 要する経費 (税込)	助成対象経費 (B) × リース月数 又は (A) × (B)	リース・ レンタル先 及び 購入企業名
機-1										
機-2										
機-3										
計										

資金計画作成時の注意点①

- **原材料・副資材費**

- 最終成果物の一部となるもの
- 組み込まれる機械なども含まれる

- **機械装置・工具器具費**

- 最終成果物を製作する際に使用するもの
- 試作金型や計測機械などに加え、ソフトウェア開発におけるサーバーやソフトウェアなども含まれる
- 1件100万円以上の場合は見積書が必要

資金計画作成時の注意点②

- **委託・外注費**

- 自社で直接実施できない研究開発・製造、共同研究
- オフショア開発なども含まれる

- **専門家指導費**

- 本事業における開発に対する**技術指導のみ**対象

資金計画作成時の注意点③

- **産業財産権の出願・導入費**
 - 本事業で開発したもののみ対象
- **直接人件費**
 - ソフトウェア開発（アプリ・組込みソフトなど）のみ対象
 - 1,500万円の内、**500万円まで**申請可

見積書（機械装置費のみ）

- 構成単位が1件100万円（税抜）以上なら
2社分の見積書を提出
 - 「過去に取引実績がある企業以外に情報を公開したくない」という理由での1社分だけの提出はN G
- 申請時に想定される仕様・購入先を記載
 - 「未定」はN G
 - 採択後の事前手続きにより計画変更は可能

4. その他の注意事項

同一テーマでの併願申請

補助・助成事業の種類

併願申請

他の補助・助成事業



公社の他の助成事業



※複数採択された場合は、いずれかを選択

開発実施場所

- 申請者の事業所であること
- 原則として東京都内であること
 - 首都圏であれば概ね申請可能
- 公社が現地で購入物品・成果物等を確認可能であること

資金計画

8. 研究開発の資金計画 助成対象期間の全体経

SME0000000

(1) 経費区分別内訳

Aの値が1,500万円を超える場合は、
Bの値のいずれかを手入力で修正して
Aの値を1,500万円以下にしてください。

(単位：円)

経 費 区 分		助成事業に要する経費 (税込) 注1	助 成 対 象 (税抜) 注2	助成金交付申請額 (千円未満切捨) 注3
内 訳	(1) 原材料・副資材費			B
	(2) 機械装置・工具器具費			
	(3) 委託・外注費			
	(4) 専門家指導費			
	(5) 産業財産権出願・導入費			
	(6) 直接人件費 注4			
	(7) その他助成対象外経費			A
合 計 注5				

注6

解説コンテンツのご紹介

- 公社HPで、助成金の仕組みやポイントを解説しています。是非一度ご覧ください。

- **助成金解説ページURL**

トップ > 事業案内 > 助成金事業 > 仕組み・ポイント

<http://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/index.html>

助成金解説ページ①

[トップ](#) > [事業案内](#) > 助成金事業



相談案内

- 育成・社員教育
- 海外展開
- 福利厚生
- 伝統工芸品産業
- 知的財産
- 貸会議室・展示室
- リンク集

助成金事業

公社が実施している助成金のページです。助成金に関する様々な情報がありますので、申請を検討している方は各項目をご覧ください。

- 助成金TOP
- [仕組み・ポイント](#)
- [助成金一覧](#)
- [採択企業一覧](#)
- [様式集](#)
- [FAQ](#)
- [リンク](#)

助成金の概要説明(動画)



[助成金とは？](#)

約2分の動画
助成金を分かりやすく説明

メニュー

[助成金の仕組みと申請のポイント](#)

助成金の仕組みと申請書作成のポイントを説明しております。

[助成金一覧](#)

「申請書作成のポイント」も掲載

助成金解説ページ②

トップ > 事業案内 > 助成金事業 > 助成金一覧 > 製品開発・改良

など目的別に
検索できます。

助成金事業

公社が実施している助成金のページです。助成金に関する様々な情報がありますので、申請を検討している方は各項目をご覧ください。

[助成金TOP](#)
[仕組み・ポイント](#)
[助成金一覧](#)
[採択企業一覧](#)
[様式集](#)
[FAQ](#)

公社で実施している助成金の一覧です。助成金の一覧以外に使用目的別や対象となる法人のだけます。

[助成金一覧](#)
[目的別](#)
[法人の種類別](#)

使用目的別一覧

[製品開発・改良](#)
[展示会・海外展開](#)
[設備導入](#)
[創業](#)
[知的財産](#)

公社で実施している助成金の一覧

No.	名称	概要・目的	助成率	助成限度額
1	製品開発着手支援助成事業	開発の初期段階のアイデアや構想の技術検証を行う都内中小企業者等に対し、本格開発に着手する前の事前検証に要する経費の一部を助成します。	1/2	100万円
2	新製品・新技術開発助成事業	実用化の見込みのある、新製品・新技術の自社開発を行う都内中小企業者等に対し、その研究開発に要する経費の一部を助成します。	1/2	1,500万円

製品開発以外の
助成金は
こちらで確認！

本資料に関するお問い合わせ

(公財) 東京都中小企業振興公社
企画管理部 助成課

新製品・新技術開発助成事業 事務局

Tel : 03-3251-7894・5

Mail : josei@tokyo-kosha.or.jp